

(内千石與力知)を襲ぎ、定火消・小松御城番・御奏者番等を経て、文化元年御家老兼若年寄に任じ、天保二年致仕して睡鴨と號し、料七百石を受けた。

マヘダスエアキラ 前田季明 加賀藩臣。通稱重丸・主殿助。前田三左衛門直之の女が、四條大納言公理に嫁して生む所。前田利常に仕へて六千四百五十石を領し、延寶中歿した。

マヘダソウキヨウキ 前田創業記 五册。河内山昌實著。加賀藩祖前田利家の誕生から、利常の時大坂藩城までの事實、及び加越能三州に於ける争戦等を編年体で集めたもの。自序に延寶三年九月加賀翁徐行子と記する。

マヘダカオキ 前田孝起 加賀藩臣。通稱雅樂助・兵部。享保八年養父左京誠明の遺知三千五百石を受け、定火消・御近習御用を經、寛延二御年家老兼若年寄、三年御用加判を命ぜられ、五百石を増し、四千石(内千石與力知)となり、寶曆十年小松御城代に任じ、明和六年三役共に指除かれた。

マヘダカカス 前田孝和 加賀藩臣。通稱左門・勘解由。駿河守孝貞の次子。新知及び父の隠居知合はせて三千石を領し、如來寺請取火消・小松御城番・江戸御留守居を経て、享保十三年御家老に進み、二十年指除き、延享四年再び御家老となり、寛延二年七月二十日五十八歳を以て歿した。

マヘダカサダ 前田孝貞 加賀藩の老臣。前田長種系の第四代。直正の嫡男。寛永五年四月出生。幼名長松丸、後對馬・佐渡。初諱孝憲。寛永八年直正歿し、孝貞尙幼なるを以て、遺領一萬七千石を叔父志摩直成に管せしめ、二十年十二月その内一萬石(内千三百石

與力知)を孝貞に賜ひ、七千石(内八百石與力知)は直成に與へられた。然るに正保二年直成遁世し、了心と號して高野山に上つたから、八月七千石(内八百石與力知)を孝貞に返し賜はり、慶安三年十二月二千石(内千石與力知)を加増せられ、寛文九年三月又二千石を増して合計二萬千石を領し、内三千石を與力知とせられた。次いで家老に任じ、人持組頭となり、金澤城代・小松城代を兼ね、元祿四年十二月廿六日從五位下駿河守に叙任し、十年六月朔致仕して別に三千石(内五百石與力知)を受け、十四年七月六日薨逝して源隨と號し、寶永四年八月十九日享年八十を以て卒した。法號直指院義連源隨居士、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダカスケ 前田孝資 加賀藩の老臣。前田長種系の第六代。孝行の嫡男。天和三年七月四日出生。通稱市之助・大炊。寶永四年六月廿九日新知二千五百石(内五百石與力知)を賜ひ、享保七年二月十六日孝行の遺領二萬千石の内一萬八千五百石(内三千百石與力知)を受け、殘餘二千五百石及び先に孝資に賜つた新知の内五百石、都合三千石を弟孝親に配分すべきことを命ぜられた。次いで二十年十二月廿五日從五位下對馬守に叙任せられ、寶曆三年三月九日七十一歳を以て卒した。法號佛性院賦山源麟居士、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダカスケ 前田孝亮 加賀藩臣。通稱掃部。寛政元年父主膳道孝の遺知三千石(内千石與力知)を受け、三年小松御城番、文化元年若年寄、文政元年兼御近習御用に任ぜられ、九年歿した。

マヘダカテル 前田孝錫 通稱内藏太。

勘解由孝和から第七代の孫で、父は内藏助孝保。安政三年十二月遺知三千石を繼ぎ、人持組に列し、定火消役・小松御城番・小松表詰・今石動等支配を経て、元治元年八月京都詰となり、同八月家老に任じ、慶應元年六月京都詰、同七月洛中若年寄兼帶を勤め、明治二年九月金澤藩權大參事となり、後名を晋と改めた。孝錫王政維新の際京都に居り、皇室と藩との間に介在して盡力した功最も多かつた。

マヘダカトモ 前田孝友 加賀藩の老臣。前田長種系の第八代。孝昌の嫡男。寶曆九年七月八日出生。通稱與十郎・大炊・駿河。安永六年十一月十三日孝昌の遺領一萬八千五百石(内三千百石與力知)を受け、享和三年十二月十六日從五位下伊勢守に叙任せられ、文政四年八月六日致仕して二千石を受け、天保三年五月廿五日七十四歳を以て卒、孝猷院梅翁源樹居士と諡せられ、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダカナカ 前田孝中 加賀藩の老臣。前田長種系の第十代。孝本の二男。天保十年十二月六日出生。幼名菊丸、後菊之丞・大炊。安政三年十一月孝本の遺知一萬八千石(内三千百石與力知)を繼ぎ、四年二月廿九日享年十九で歿した。法號勇猛院。金澤玉龍寺に葬る。

マヘダカノリ 前田孝敏 加賀藩臣、通稱數馬。實は七日市藩主前田利豐の子。貞享四年新知二千五百石を受け、正徳元年小松御城番となり、二年九月十五日三十七歳を以て歿。子孫相繼いで藩に仕へる。

マヘダカノリ 前田孝敏 加賀藩の老臣。前田長種系の第十一代。實は前田外記孝備の嫡男。弘化四年十一月十四日出生。幼名健之

介、後與十郎・彈番。孝中の末期養子となり、安政四年五月廿四日遺領一萬八千石(内三千百石與力知)を受けた。明治の後名を豐と改め、二十一年一月五日四十二歳を以て歿。法號圓成院、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダカマサ 前田孝昌 加賀藩の老臣。前田長種系の第七代。孝資の嫡男。享保八年十月十日出生。通稱與十郎・大炊。十八年十二月十九日新知二千五百石(内五百石與力知)を賜ひ、寛延元年二月千石を加増せられたが、寶曆三年六月四日孝資の遺領一萬八千五百石(内三千百石與力知)を受けるに及び先知を除かれ、四年十二月十八日從五位下駿河守に叙任、安永六年九月十六日五十五歳で歿。法號永徳院實翁源順居士、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダカマサ 前田孝孝 加賀藩臣。通稱兵庫。一諱道暢。兵庫孝親から第四代の孫。祿三千五百石、内五百石與力知。寛政五年八月廿五日定火消の職を除いて遠慮を命ぜられ、十一年四月晦日押込となり、十二年二月十一日知行を召放して一門御預となつた。養弟才記孝弟後を襲いで二千五百石を領した。

マヘダカミ 前田孝親 加賀藩臣。通稱造酒・兵庫。諸氏系譜に諱を孝親に作るは非である。美作守孝行の八子。享保六年遺知の中二千五百石(外與力知五百石)を領し、御留守居・寺社奉行・小松御城番・江戸御留守居・再寺社奉行・御用部屋を経て、寶曆八年御家老に任じ、後五百石を加へて若年寄を兼ね、九年閏七月廿四日五十二歳を以て歿した。

マヘダカモト 前田孝始 加賀藩臣。通稱織部・式部。天明七年養父數馬孝慈の遺知三千石を襲ぎ、小松御城番・魚津在住・寺社奉